

第1学年道徳学習指導案

平成30年10月23日（火）第5校時
四万十市立東中筋中学校 第1学年17名
授業者 和泉真智子

1 主題名 感謝の心 B（6）思いやり、感謝

2 ねらい 大雨により体育館に避難した清の気持ちの変容を通して、人と人との結びつきの大切さに気づき、支えられている事に感謝し、それに応えようとする道徳的实践意欲を育てる。

3 教材名 「村の絆」（出典：「ふるさとの志」高知県教育委員会）

4 主題設定の理由

（1）ねらいや指導内容についての教師の考え方

B（6）は、「思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めること。」という内容である。

「感謝の心」は、主として他者から受けた思いやりに対する人間としての心の在り方である。人がおのずと感謝の念を抱くのは、他者の思いやりに触れ、それを有り難いと感じ、素直に受け止めたときである。そして、自分が現在あるのは、多くの人々によって支えられてきたからであることを自覚するようになる。

生徒一人一人に、現在の自分や日々の生活があることは、周囲の人々の善意や支えによるものだということを理解させ、感謝する心を育てると共に、その気持ちに応えようとする心情や実践意欲を高めるために、本主題を設定した。

（2）生徒の実態と教師の願い

本学級の生徒は全体的に明るく、素直である。好きな言葉を挙げさせると「感謝」や「ありがとう」などの言葉が多いことから、普段から意識はしているように思われる。運動会の練習でも、お互いに励まし合ったり、困っている人には自然に手を差し伸べたりしている様子も見られた。

その一方で、家族や親しい人との支えに対しては、してもらうのが当たり前のように感じていたり、ありがたいとは思っていても、うまく表現することができなかつたりする。自分に対する周囲の人々の善意や支えに気づき、それに感謝し、自分なりの言葉や行動で応えようとする意欲を培いたい。

（3）使用する教材の特質及び生徒の実態とかかわらせた指導の方策

主人公は豪雨のため避難してきた体育館で、一晩村の人々とともに過ごす。そこで、たくさんの人たちの暖かい言葉や行動に触れる。父の言った「村の絆」という言葉をきっかけに、人と人との結びつきの大切さに気づき、自分が支えられていたことに感謝する。授業では、まず、主人公が不安や不満に思っていることを捉えさせ、次に、主人公が村の人たちにしてもらった事に対して感謝する気持ちに変容したことを捉えさせたい。主人公の姿を通して、自分たちも周囲の人々の善意や支えがあって現在の生活があることに思いを至らせ、そのことに感謝し応えることで、よりよい人と人との結びつきを築きたいという道徳的实践意欲を育てたい。

5 本時で期待する生徒の姿

〔授業前の生徒の考え方〕

→

〔授業を通して高めたい生徒の考え方〕

・何かしてもらった時にありがとうと言うことができる。
・おもいやりにつづかない場合もある。
・感謝することについてあまり深く考えたことがない。

・自分が気づかない所で支えられている事に気づく。
・何かしてもらった時に、何かで返したいと思う。

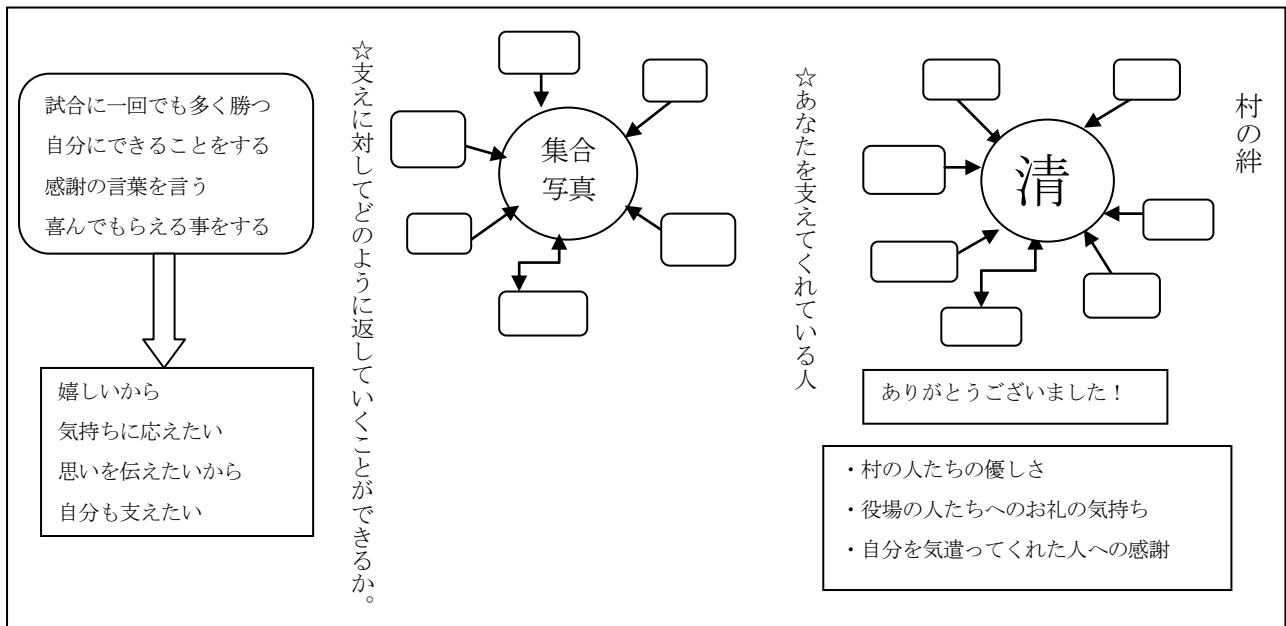
6 準備物 ワークシート・掲示物・地域の方の写真と手紙

7 本時の展開

	学習活動	主な発問と予想される生徒の反応 ◎中心発問	指導上の留意点
導入	1 災害時、避難所での生活を想像する。	○避難所で一晩過ごすというのは、どんな感じなのだろう。	・避難所での様子を想像し、教材の人物に共感できるようにする。
展開	2 教材を読み考える。 (1) ひざを抱えてうつむいた清の心情を考える。 (2) 大きく礼をし、外へ出たときの清の思いを考える。 3 感謝の意味を考える。	○ひざを抱えてうつむいた清はどんな気持だっただろうか。 ・不便な村だなあ ・早く帰りたい ・しんどいなあ *体育館で関わった人物を確認する。 役場の人、先生、山中のおばさん、川村のおじさん *清が思わず達也の手をにぎったのは、どうしてだろう。 ・達也が不安そうな表情をしていたから。 ○「ありがとうございました！」は、誰または何に対するお礼でしょう。 ・村の人たちの温かさ ・自分を気遣ってくれたこと ・役場の人や周囲の人の温かい言葉 *地域の人々の思いを知る。(写真・手紙) ◎自分の生活がどんな人に支えられているのか考えてみよう。また、その支えに対してどのように応えることができるだろう。 ・親・先生・地域の人・友達・親戚 ・試合で一回でも多く勝つ。 ・自分のできることをする。 ・感謝の言葉を伝える。 ・相手に喜んでもらえるようなことをする。	・不安と不満を感じている清の気持を捉えさせる ・不安と不満を感じていた清が、感謝の気持ちに変わったのはどうしてか考える。 ・地域の人々の写真と手紙 ・板書と同じ構図のワークシートにする。 ・支えに対してどのように返していくかを多面的に考え、意見交換させる。
終末	4 まとめ	○今日の授業で考えたことや感想を書こう。	

〔評価の主な視点〕 自分達はいろいろな人に支えられていることを理解し、感謝するとともにその支えに応えようとする記述や発言が見られる。

8 板書計画



9 他の教育活動との関連

